

## 第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略パブリックコメント実施結果

第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり、「第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）」についてパブリックコメントを実施しました。

実施期間 令和2年1月15日から令和2年1月29日まで

意見提出者数 1名

### 意見要旨

第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略原案の34ページ森林整備利活用スクラム事業について。

成木7丁目に青梅上成木ふれあいの森というボランティア団体の拠点があります。  
(<http://www.ok-fureainomori.com/>)

この団体はボランティアのみで間伐作業ができるほどの技術があります。活用されてはいかがでしょうか。通常は東京都環境局と共同して上成木の森林環境保全地域の整備を行っており、使用機材も東京都から貸与されているものが多くありますので、東京都への確認が必要とは思いますが。

循環利用については、整備の過程で生じた材をNPO等が引き受け、木工キット等にしてデイサービス等に作業活動の材料として卸し、完成品を回収・販売し、売り上げをデイサービス等へ寄付と森林整備事業への活用に使うというアイデアはいかがでしょうか。経済産業省が提唱している「仕事付き高齢者向け住宅」のデイサービス版です。高齢者支援課に問い合わせたところ、青梅市には「仕事付き高齢者向け住宅」を展開しているところはないとの回答をいただきました。でも、デイサービスは無数にあります。共同して事業展開できないのでしょうか。

### 市の考え方

森林整備利活用スクラム事業の枠組みにつきましては、市内の農林業団体と、地域貢献として森林整備に取り組みたい市内企業、そして、住宅地や農地近くの広葉樹林を整備したい市の、それぞれの課題を、互いに協力し合って解決しようというものです。

例えば市内の原木きのこを栽培・販売する団体は、全国的に供給不足である「ほだ木」を地元で手に入れることができます。

市内企業は、森林を使った社員教育にもなり、地域貢献も出来ます。

市は、農地や住宅近くに出没するイノシシなどの隠れ場所となる広葉樹林を整備することで、イノシシなどを山の奥のほうに追いやり、獣害を減らす一助となります。

また、整備が進むにつれて、本来の里山に生息していた生物が増え、森林の多様性が増加するというように、森林整備に関連し、様々な分野でメリットがあることを期待する事業です。

ご意見をいただきました内容は、今回の事業には該当しませんが、枠組みの類似性もあり、実現性のあるものですので、今後、森林整備に関する事業を展開する上で参考とさせていただきます。